第118号
金田町報
発行所　金田町中央公民館
編集兼発行人　清水義雄
印刷所　九州機関紙印刷所
電話　093 ㊒ 4461

かなだ

金田町人の動き

世帯数	2,211	減2
人口	8,887	
男	4,312	
女	4,575	
出生		35
入		37
転出		4
死亡		4

議会だより

議会事務局

昭和四十六年第六回定例会が昭和四十六年十二月十六日本町議会議事堂に招集され、一日間の会期により諸議案が慎重審議され、次のとおりそれぞれ可決（一部修正）されました。

◎専決処分を報告し承認を求めることについて（可決）
◎職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について（可決）
◎単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について（可決）
◎教育長の給与・勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について（可決）
◎企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について（可決）
◎金田町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について（可決）
◉同和地区農家負債整理資金融通規定に基づく損失補契約の締結について（可決）
◉上地改良法に基く同和対策農業基盤整備事業の施行について（可決）
◉金田町町有財産の処分について（可決）
◉決算の認定について（可決）
◉昭和四十六年度一般会計補正予算について（可決）
◉昭和四十六年度金田町国民健康保険特別会計補正予算について（可決）
◉昭和四十六年度金田町有線放送電話特別会計補正予算について（可決）
◉昭和四十六年度金田町簡易水道特別会計補正予算について（可決）
◉昭和四十六年度金田町水道事業会計補正予算について（一部修正可決）
◉金田町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について（推せんにより次のとおり決定）

委員　相原　明治
委員　森　重孝
委員　杉　茂
委員　藤本富士松
補充員　荒牧　宗雄
補充員　福田　耕蔵
補充員　堀田　満
補充員　香月　久幸

◉固定資産評価審査委員会委員の選任について（決定）

委員　平島　憲一

◉手当支給の段階制についての撤回に関する請願書
・同和予算に依る失対事業を起すよう請願書
・四十六年下半期失対事業計画策定に依る枠削減についての請願書

（請願書三件・産業経済民生委員会に付託）

歩行者の交通学（2）

中央公民館

せっかちな横町

一般的に日本人は、理性的であるよりも感情的であり、落ち着きのない性格といわれています。せっかちな人間的特性が、交通の場においては事故を招きやすい要因ともなっています。

このことは踏切事故の場合などに、とくに、はっきりあらわれています。

電車や汽車は踏切で、いちいちとまってくれるものではありませんから、横断する人や車の責任で、安全をたしかめなければならないことはいうまでもありません。踏切事故の大半は、行き違い列車によるものです。汽車が通り過ぎたので「待ってました」と、ばかりに急いで踏切にはいったとたんに、通り過ぎた列車のかげから現われた、反対方向の列車にはねられるのです。

ほんのちょっとした注意で、事故は避けられるのです。

交通事故の主原因が歩行者側にあることについて、その原因を細別してみますと、車の直前直後の横断が過半数を占めています。車体が無色透明でもないかぎり、車のすぐ前や、後から横断すれば車のかげになって、他の車が接近していても見えないし、相手方の車からも横断歩行者は見えません。見えないもの同志がぶつかるわけで、こんな危いことはありません。

しかも、横断中の事故はたいてい、走ったり、とび出したり、急いでいる状態で発生しています。

「急がばまわれ」は古いことわざですが、今日の交通事情のもとで、交通安全の教訓として、とくに、強調したいと思います。

水道課よりお知らせ

水道管の凍結や破れつ、メーター検針のさい次のような点に御協力下さい。

1、冬、気温が氷点下にさがりますと地上にむき出しになっている水道管は寒気が直接あたるため、管の中の水が凍って出なくなったり、管が破れつするようなことがあります。とくに次のようなところの水道管には十分注意ください。

○北向きのところ
○風あたりの強いところ
○家の外にある水道

2、このような事故を防ぐには、布、ナワなどを水道管に巻きつけて保護してください。

3、テレビ、ラジオ等で明日は冷えこむ等のお知らせがあった場合、蛇口の下に馬穴等を置き、タラタラと出る程度に蛇口をひねっておくと水道管内の水が動くので水道管の凍結を防ぐのに効果があります。

4、もし凍ったときは、ゆっくりと、ぬるい湯をかけてとかします急に熱いお湯をかけますと、管が破れつしますので注意ください。

5、給水管が破れつしたときは、止水栓を閉めるか、破れつしたところに布やテープをしっかりと巻きつけて応急手当をし、すぐ水道課へ連絡下さい。

6、メーターボックスの上に物を置かないで下さい。

7、犬は放し飼いにしないで下さい。

金田町史
頒布価格　1,000円
ご希望の方は中央公民館へ

消防だより

総務課

昭和四十七年下田川四カ町消防出初式が一月九日（日曜）糸田町小学校々庭において盛大に挙行されました。

この晴れの出初式において、次の方々が消防使命達成に尽された功績により、数々の表彰の栄に浴され、今後も一層住民福祉のために健闘するものでありま す。

表彰受賞者次のとおり。

◎福岡県知事感謝状
・和田政次郎
・植高勇太郎
・植高　春美
・藤川　義臣
・池内　鶴義
・辰島　生
・辰島　猛
・森野　久七
・植高　正義
・長藤九州男
・森　種重

◎福岡県消防協会長表彰
◎金馬簱、金田町消防団第一分団
◎防火消防施設宣伝の普及改善功労者
金田町大字神崎一三九二番地、森リユ氏

◎優良団員表彰
・園田　一夫
・柴田　秀勝
・市丸　良文
・平島　友作
・長藤九州男
・若林佐久馬
・勝野　政博

◎永年勤続者表彰
十年表彰
・岩本　益見
・山本　恵治
十五年表彰
・辻岡　嘉之
・平田　晴美
・一木　昌弘
二十年表彰
・和田政次郎
・植高勇太郎
・藤川　義臣
・植高　春美
・池内　鶴義
・辰島　生
・植高　正義
・辰島　猛
・森野　久七
・長藤九州男
・森　種重
二十五年表彰
・吉田　耕治
・福田　繁文
・市丸　良文
・桑野　朝重
・辰島　正
・中川　大三
・植高　秋光
・八代　国久
・平島　憲一
・若林　隆雄
・森藤　勲
・永富　昭三
三十年表彰
・中川　正夫

◎福岡県消防協会田川郡支部長表彰
・福田蒼八郎
・辰島　一郎

◎金田町長感謝状
・金田町大字神崎
森　リユ氏
・金田町東金田
守田　武敏氏

◎金田町長（優良団員）表彰
・高橋　峯男
・木戸　義幸
・中本　裕聡
・鼻野　幸司
・上村　幸文
・山本　幸平
・森藤　俊男
・相原　義春

祖父母・孫関係（1）

青少年問題協議会

子どもの人格発達にとって、大事でない家庭内の人間関係というものは一つもありません。江戸時代の漢学者中江藤樹は陽明学の大家として、江戸時代にその名をうたわれた人ですが、かれが立派な学者となったのは、もちろんかれの母が偉かったのにもよりますが、当時、藩の学者として藩公に仕えていた祖父中江徳左衛門が愛に溺れず、母から託された幼少の藤樹を、愛の中にもきびしさを交えて、育てあげたことにもよると考えられます。九才で祖父のもとに預けられ た藤樹が、母のもとに帰ったのは、学問の上で一家をなしてからの二十七才のときです。その間、すべて祖父の影響下にあったといってよろしいでしょう。

このように孫を親に代って立派に育てあげた、あるいは間接ではあるが、孫に立派な影響を与えた祖父母というのは、必らずしもないわけではありませんが、非常に珍らしいと思います。それは一体どこに原因があるのでしょうか。

祖父母と孫の人間関係においては、孫にたいする祖父母の過剰愛情が、孫の人格をついそこなってしまうということが、よく起こるものです。祖父母、孫関係で教育的見地から見て、とかく問題になるのはこの過剰愛情です。では祖父母の孫にたいする過剰愛情は、どうして起こるのでしょうか。何か起こるのでしょうか。必然性というようなものでもあるのでしょうか。

小学校就学前健康診断の結果から

教育委員会

学校保健法に基づく、昭和四十七年度新入学生就学前、健康診断および知能検査を、去る四十六年十二月九日金田小学校で実施しました。

本年就学予定児童は一〇三名でしたが、感冒その他で欠席が九名あり検査者は九十四名でした。また実施にあたっては、町内三保育園の保母先生と、役場職員に協力いただきましたことを、お知らせ申し上げます。厚く感謝実施の結果は、表の通りです。

就学前の健康診断の結果から

疾病異常	人数	事後措置
視力近視	6	助言
視力遠視	0	
色弱	1	助言
難聴（片側）	2	治療勧告
眼疾	0	
耳鼻咽頭疾患	3	治療勧告
皮膚疾患	0	
齲歯未処置	87	治療勧告
齲歯未措置永久歯	7	治療勧告
その他		

教育モニターを募集しています

教育委員会

開催する教育モニター会議に出席していただき、意見などを口頭で述べてもらう。などが主な仕事です。申し込み受付け期間は二月一日から二月二十一日までです。

なお、募集人員、応募資格、謝礼、申し込み先、などくわしいことは、当町教育委員会までお問い合わせて下さい。

齲歯未処置と近視の数が多く、数は少ないがその他の疾病異常も発見されていますので、該当児童は入学までにできるだけ、治療しておいて下さい。また、簡単な知能検査も実施しましたが、大部分の子は普通でした。

文部省では、政府の文教施策について、広く一般国民から批判、意見、希望などを聞き、文教行政の参考にするため、四十七年度教育モニターを募集していま す。

仕事の内容は、①一年に三回程度、文部省がおくる文書に意見などを記入し、回答してもらう。②指定する県に在住する教育モニターのかたは、当該道府県で

税金は私たちのくらしに還ってきます

田川税務署

今後皆さんの広報紙にお願いして、国税に関するいろいろのことを、お知らせしますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

さて、本日は手はじめに国税が皆さんのくらしにどれだけ還っておるかお知らせしましょう。

田川税務署が一年間に収納した国税の総額は約十六億円でありまして、田川市郡の皆さんが一人当り約九千円納めていただいたことになります。

一方、田川十カ市町村が私たち住民の幸福と繁栄のため昭和四十六年度の財源として計上した歳入予算の総額は、約百十億円で、そのうち国から地方交付税、交付金等により交付をうける金額は、約七十億円であります。これを一人当りにすると約三万八千円となります。

このほか福岡県が国から補助される金額が約九百七十億円あり、これは県民一人当り約二万四千円となります。したがいまして、田川市郡の皆さんは、一人当り約九千円の国税を納めて約六万二千円を還元されていることになります。

『ゴミ戦争時代』

中央公民館

交通戦争についで、「ゴミ」戦争時代が始まった。一日に一二、〇〇〇トンもゴミが出る、東京のような大都市ばかりではなく、金田のような田舎町にも、現に規模の差こそあれ、ゴミ戦争がおこりつつある。

一方の難物であった「しん尿」処理はやっと解決をみたが、それにもまさる難物の「ゴミ」処理は、下田川共同で処理施設をなすべく、目下先進地に視察に行くなど、ある程度の青写真に近いものが、まとまりつつあると思われますが、もう方ならぬ苦心を払っているようです。

然し世は正に大型消費時代、ゴミはいよいよ殖える一方、東京より人口の少ない、「ニューヨーク」では一日のゴミが何と二六、〇〇〇トンとか、これに反し共産圏諸国では、ゴミの量は僅少の由で、北鮮の金日成氏が、訪問者の美濃部東京都知事との会談で、東京都の話を聞いて、ビックリしているとか、今やゴミの多寡は文明のパロメータと変りました。

文明は自然を破壊するだけに止まらず、やがて人類をゴミで埋めつくすやもしれません。そうさせてはならぬだけに、各自治体の責任と、大きなやみがある訳です。

日本でも、戦時中貨物には各自風呂敷や、いれものを持参したではないかと、過大包装追放の運動がおきつつあるようです。本町の皆さん方も是非ご協力下さいがっているといわねばなりません。

最近、テレビも、新聞も、しばしばこの問題をとりあげている。ある自治体では海岸の埋立てに、また他では山間の谷にと、辛うじて処理しているようだが、もう捨て場がないと、近くなくなるというのが、殆んどの実態のようで。最近テレビで見たので は、ゴミを強度に圧縮して、コールタール漬けにして海岸の埋立てに使うのがあったが、どの自治体も一つならぬ苦心を払っているようです。

然し世は正に大型消費時代、ゴミはいよいよ殖える一方、東京より人口の少ない、「ニューヨーク」では一日のゴミが何と二六、〇〇〇トンとか、これに反し共産圏諸国では、ゴミの量は僅少の由で、北鮮の金日成氏が、訪問者の美濃部東京都知事との会談で、東京都の話を聞いて、ビックリしているとか、今やゴミの多寡は文明のパロメータと変りました。

文明は自然を破壊するだけに止まらず、やがて人類をゴミで埋めつくすやもしれません。そうさせてはならぬだけに、各自治体の責任と、大きなやみがある訳です。

日本でも、戦時中貨物には各自風呂敷や、いれものを持参したではないかと、過大包装追放の運動がおきつつあるようです。本町の皆さん方も是非ご協力下さい。

『ねんきん相談』

～年金係～

（問） わたしは大正二年生れの自営業者ですが、七〇才から老令年金（全額国が負担し保険料は納めず年金がもらえる）がもらえると思い国民年金に加入しませんでした。しかし最近人から聞いたところでは老令福祉年金も、もらえないそうですが本当でしょうか。また、いまからでも国民年金に加入することができるでしょうか。（金田町K）

（答） 国民年金は明治四十四年四月二日以後に生れた人で、厚生年金や共済組合等の年金制度に加入していない人は二〇才になったら必らず加入することになっています。老令福祉年金は、国民年金制度が始まったときすでにお年寄のため保険料をかける時間がない人たち、すなわち明治四十四年四月一日以前に生れた人のほかに、大正五年四月一日までに生れた人で、国民年金に加入はしたが保険料を納めた期間が少なく国民年金がもらえない人たちだけに七〇才から、支給される制度ですから、あなたの場合は老令福祉年金は支給されません。ところで、あなたが三十六年四月一日以前から自営業者であれば、三十六年四月にさかのぼって国民年金に加入しなければなりません。国民年金の保険料は二年前の部分は時効により納めることが出来ないことになっていますが、四十七年六月までは特別に月四百五十円の保険料を加入したときまでさかのぼって納めることが出来るようになっていますので、いますぐ加入し年金をもらう権利を確保してください。なお詳細については遠慮なく役場年金係にお尋ね下さい。

金田中学校善行表彰者のお知らせ

金田中学校

一、福田昌先生は昭和四五会長、大平正芳氏（東京都台東区）より、金田中学校善行者二組について教育委員会推せん（文部省後援）により表彰を受けました。

財団法人「黄十字会」の年度金田町教育委員会に充指として勤務中に、家庭の事情その他で長欠したり、欠席しがちな生徒数名に、根気よく家庭訪問や、面接指導を繰りかえし、温い人間愛に徹して就学させることに成功し、その他数々の善導により表彰さる。

二、金田中学二年生、市丸充徳君、河野太一君、福田昌平君の三人は歩行困難な同級生の某君が登下校するとき、雨の日も風の日も手押し車を押して援助し、温い友人愛に徹して全校の人々より賞讃され、某君もよく努力してほとんど欠席しなかった。その善行が認められて受賞した。

第一回

「福岡県青年の船」に参加して

小野美幸

船を降りて二カ月余。あの旅での興奮感激も少しづつおさまり、冷静になったいま、静かに「青年の船」でのことをふり返ってみると「本当に貴重な体験をしたのだ」という実感がわき上がってくると同時に、この得がたい体験を自分一人のものだけにせず、地域社会に還元せねばならないのだ、という責任感がひしひしと感じられる。

福岡県政百年記念事業として企画された「福岡県青年の船」団員として、第一回事前研修に出たのは八月二十九日。ここで初めて団員全部が顔を会わす。みな地域のリーダーの人たちばかりで、何の活動もしていなかった。私には良い刺激となった。「青年の船に物見遊山的気分で乗る人は、いますぐ、この会場から出て下さい」と開口一番に県の先生よりいわれ、これから先の研修の厳しさが思いやられ、身のひきしまる思いがしたのをいまでも覚えている。

第二回研修は九月十二日。第三回は二泊三日で阿蘇青年の家に出かけた。この頃からそろそろ皆も打ち溶けて、なごやかな空気の中で研修が行なわれた。この三回めの研修が終ってから、行先きが政治的な理由のため、台湾よりフィリッピンに変更された。マスコミでもいろいろ取りあげて騒がれ、一部には、この「船を中止しろ」という意見まで出て情けない思いもした。第四回研修も無事終え、正式団員と認めるという認可証を手にしたときは、さすがに嬉しかった。

さて行先変更という障害を乗り越えて、われわれの船「さくら丸」が博多を出航したのは十一月十六日十四時。乱れ飛ぶ七色のテープを見つめながら「不安・期待・責任」という三つの思いで、胸がいっぱいであった。船内生活は非常に規律正しく行なわれた。さすがに四回の事前研修のためか、皆の呼吸もピッタリ。厳しい中にも楽しさに満ちた充実した素晴しいものであった。各テーマごと分科会に別れての討論会、研究会。皆活発な意見を出し、時間の足りないこともたびたびであった。英会話・県政事情・比国事情などの研修。その間にあるレクリエーション。

こうやって三日半はすぐにたち、二十日朝、船はマニラ港に横づけされた。初めて踏む外国の地。皆の感激は大きかった。対日感情の悪さを心配されている国だけに、不安感もあったが、港から独立の父リサールを記念するリサール碑迄の約二十分間の行進の途中に、街の人々の見せてくれた笑顔や、V（ピース）サインに、その不安も吹きとんだ。二十日はタガイタイ市、タール火山、I・I・R・R（植物研究所）等見学し、初めての外国というためか、疲労度も大きく、クタクタとなった。その夜は船に現地の青年百余名を招待しての交歓会。暑くて汗ダラダラ。流れおちる汗をぬぐって、和服を着て交歓会の司会をやった。こういうことなら英語をもっともっと勉強するのだったと後悔した。交歓会ではお互いの国の芸能交換も行なわれ、われわれの踊った「炭坑節」はハッピの珍らしさから大好評であった。

二十一日にフォート・サンチャゴ。聖オーガスチン教会。マラニアン宮殿。サントトマス大学などを見学した。フィリピンの貧富の差の激しさは予想以上で、素足でタバコ、新聞を売り歩く子供達の姿を見たり、また治安の悪さや、疫病の多さを眼の当り見るにつけ、本当に日本は恵まれた国だなあと感じた。日本の国はダメだ。とか不平不満を述べてばかりいる人達は、一度外国に出て祖国日本を見直せば、その良さに必らず気付くであろう。勿論日本に満足ばかりしろとは言わないが、祖国に対して常に感謝の念も忘れてはならないと思う。

二十一日夜、短い滞在であったが、思い出多いフィリピンに別れを告げ、次の寄港地沖縄に向った。途中低気圧のため海が非常にシケて船酔者続出。私もグロッキーで、まる一日水さえ飲めなかった。その上、沖縄着も一日遅れてしまった。二十五日星条旗ひるがえる軍港郡覇に入港。「さくら丸」の日章旗が目にしみた。

沖縄では戦跡めぐり等行なったが何分にも時間がなく、十分な見学が出来なかったし、現地の人達との話し合いもなく、物足りない気持だった。沖縄で感じたのは「何はともあれ、早く復帰を」と言うことだった。いろんな事情で復帰賛成論者ばかりでないことはよくわかるが、一日も早く復帰して、本土並みの生活をして欲しいということである。とにかく沖縄は貧しい。私達は復帰後できるだけ援助して、あたたかく見守らねばならない我物顔に上空を飛びまわるジェット機の下で、無表情に畑を耕す老人に「今の沖縄の苦しみ」が実感として伝わってきた。

私達の貴重な体験を山と積んで、船がなつかしの博多港に入ったのは二十七日朝。短かかったけれども、生涯の思い出となるであろう。この旅を終えて思うことは多い。しかし何と言っても世界はひとつ。同じ人間どうし戦争は絶対にしてはならない。あのマニラの裏町を裸足で走りまわっていた子供達、沖縄の老人の姿、と思い出すにつけ、そういう思いが一層深くなってゆくのである。

「青年の船」は二回・三回と続けられるそうだが、金田町から一人でも多くの青年が参加し、「何か」を得て帰ってこられることを希望する。

『成人と国民年金』

～年金係～

★成人おめでとう

成人の日とは「大人になったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます日」となっています。今日から多くの権利があたえられ義務が課されますが、国民年金に加入するのもその一つです。

★社会人として第一歩……やがて結婚

国民年金制度は老後の保障だけではありません。やがて結婚し家庭の父、母となる日も遠くありませんが途中で障害者になったり、母子世帯にならないとは限りません。そんな時も国民年金は保障が約束されています。厚生年金や共済組合等に加入していない人は、必らず国民年金に加入し将来の生活設計に備えましょう。

★ある日突然老人になるのではありません。

若い人たちに遠い将来に備え年金を、といっても、真剣に考えることはむづかしいことかもしれませんが、わが国の年齢構成が非常ないきおいで老齢化している今日、社会保障の何たるかを若い世代として考えると共に、自分の老後についてもこの際じっくり考えるのも意義あることではないでしょうか。

ご芳志ありがとうございました

金田町社会福祉協議会
金田町教育後援会

加治真勝殿
御尊父菊茂様の香典返礼として社会福祉協議会へ

加治ノブ子殿
御主人安麿様の供物料返礼として教育後援会へ

それぞれご寄附をいただきました、厚く御礼申し上げます。